

様式

技術名称	エキスパッカ-N工法・エキスパッカ工法	技術の分類	薬液注入工法	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	KK-080040-A
会社名等	地盤注入開発機構	担当者	小山忠雄	連絡先	03-3815-2162
技術の概要	従来、浸透性に優れた薬液注入工法として「ダブルパッカ工法」が主に採用されていたが、地盤条件によっては薬液が土粒子間に浸透せず、割裂を伴うケースが散見されていた。エキスパッカ-N工法・エキスパッカ工法は確実な浸透注入を目指し、注入の基本である低吐出を実現した浸透注入工法である。ダブルパッカ工法が直径10cm程度の球状浸透源(314cm ²)からの注入であるのに対し、エキスパッカ-N工法・エキスパッカ工法は大きな浸透源(3140cm ²)からの低吐出浸透注入を実現した浸透注入工法である。	添付資料	パンプの有無	有	
			その他の資料	技術マニュアル 積算マニュアル	
技術の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・地盤中にソイルパッカを形成することで柱状の大きな浸透源を確保し、ダブルパッカ工法の2～3倍の吐出量で浸透注入を行う。浸透源が10倍と大きいため、単位面積当たりの吐出量は非常に小さく、急速な浸透注入が可能である。 ・φ2～3mの改良体が得られるので、施工ピッチを大きくすることが出来る。その結果、施工本数を1/4～1/9に減ずることが可能で従来工法に比べて経済的な工法といえる。 ・注入設備は従来のダブルパッカ工法の設備をそのまま使用することが可能である。 ・細粒分含有率40%未満の砂質土に適用。細粒分含有率20%以下の砂質土は特に高い改良効果が得られる。 	その他	活用に当たっては以下の点に留意が必要 ・細粒分含有率40%以上の砂質土、粘着力40kN/m ² 以上の粘性土への適用 ・特許使用料が必要(特許第3509744号)		

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。